

(Daily 日本史) ~奈良時代の政治~

【問】 2003 年 神戸学院大学 法, 経済, 人文

古代の社会に関する以下の文章を読み、各問いに答えよ。

(7) 奈良時代の政治は、皇親と有力貴族との関係を軸として運営されていた。律令制定に力をつくした藤原不比等は、天皇家と緊密な関係を築き藤原氏発展の基礎を固めた。

不比等の死後、(1) 彼の四人の子らは皇族の左大臣を策謀で自殺させ、不比等の娘・光明子を聖武天皇の皇后にたて、権勢をふるった。しかし 737 年、四人が疫病によって相次いで世を去ると、再び皇親の橘諸兄が政権をにぎり、政治を独占した。これに反発した藤原広嗣が反乱をおこし、政情不安が高まった。

そこで聖武天皇は都を転々と移し、さらに仏教の力を借りて政治や社会の不安を鎮めようとしたが、聖武天皇の退位後には再び政情不安が高まった。光明皇太后の甥であった藤原仲麻呂は、757 年におこった ウ の反乱を押さえ、専制的な政治を行なった。だが光明皇太后の没後には、孝謙上皇にとりたてられた エ が権勢を増した。764 年、エ との対立を深めた藤原仲麻呂は兵をあげたが敗死した。

その後孝謙上皇は再び即位して オ となり、そのもとで エ は太政大臣・禅師に任命され、ついで法王の称号を得て権勢をふるった。だが オ が亡くなると エ は失脚し、光仁天皇が即位して混乱する律令政治の再建をはかった。

[1] 下線部(7)に関して、次の記述 A～D の中から **正しいものを 1 つ** 選べ。

- A 橘諸兄は隋から帰国した僧・玄昉を登用した。
- B 聖武天皇が移した都はいずれも山城国の中に設けられた。
- C 光明子は、皇姉妹や皇女以外からはじめて皇后になった人物であった。
- D 藤原広嗣が反乱をおこしたのは摂津国であった。

[2] 下線部(1)は南家・北家・式家・京家の四家に分かれた。彼らの中で南家に属していた人物名を次の A～D の中から **1 つ** 選べ。

- A 藤原房前 B 藤原武智麻呂 C 藤原宇合 D 藤原麻呂

[3] ウ に該当する人物名を次の A～F の中から **1 つ** 選べ。

- A 吉備真備 B 恵美押勝 C 橘奈良麻呂
- D 和気清麻呂 E 長屋王 F 伴善男

[4] に該当する人物名を次のA～Fの中から**1つ**選べ。

A 高 弁

B 貞 慶

C 源 信

D 道 鏡

E 叡 尊

F 忍 性

[5] に該当する人物名を次のA～Fの中から**1つ**選べ。

A 称徳天皇

B 淳仁天皇

C 淳和天皇

D 元明天皇

E 元正天皇

F 文武天皇

[6] を失脚に追い込んだ人物名を次のA～Fの中から**1つ**選べ。

A 藤原師輔

B 藤原種継

C 藤原冬嗣

D 藤原良房

E 藤原百川

F 藤原隆家

【解答】

[1] C

[2] B

[3] C

[4] D

[5] A

[6] E